

件名1 最良で快適な教育環境の充実を。

要旨1 既に設置導入している支援学級におけるマルチメディアデイジー教科書について問う。

要旨2 子どもたちの教育の場であり、災害時には地域の避難所として重要な役割を果たす学校体育館。近年の猛暑や激甚化・頻発化する自然災害による熱中症および災害関連死を防ぐため、冷暖房空調の整備を加速させることが急務である。児童生徒に加え、避難者も安心して過ごせるようにすることが大切である。市は学校体育館にスポットクーラーの導入を進めているが、国は、2024年度補正予算で新設された「空調設備整備臨時特例交付金」のほか、2025年度の地方交付税措置を通じた光熱費などの運用経費支援にも取り組まれる。また、特別教室にもエアコン設置を望むPTAからの陳情もある。見解は。

要旨3 SNSなど、ネット上のいじめ防止対策について問う。

件名2 急げ、DISASTER対策。

要旨1 大規模災害時における避難所環境改善、特にTKB（トイレ、キッチン、ベッド）の配備や、被災者が尊厳ある生活を営める最低基準を示す「スフィア基準」について。

- (1) 令和6年12月に改訂された避難所の運営指針で明記されているスフィア基準について、市の避難所におけるトイレ基準の在り方は。
- (2) 発災後の生活で大切な一つに食の問題がある。特に温かい食は心身ともに癒すものがある。ニーズに応じたキッチンカー等を迅速に提供できる体制は。
- (3) スフィア基準に基づく避難所内の一人当たりのスペースを、最低3.5平方メートル（畳2畳分）としている。段ボールベッドなどが置ける広さの確保を目指す取り組みは。

要旨2 令和6年11月、中央防災会議等から出された、「令和6年能登半島地震

を踏まえた災害対応の在り方について」の報告書から。

- (1) 政府は、災害ボランティアとして活動する支援団体の事前登録制度の創設を検討している。市も積極的に取り組むべきであると考えるが見解は。
- (2) 三者間連携の進捗状況と展開は。
- (3) 発災後の通信設備の被災状況の把握や通信環境の確保等を迅速かつ継続的に行う取り組みを検討すべきと考えるが見解は。

要旨 3 福祉避難所について、障がい等で避難が困難な方が普段から利用している施設等を福祉避難所としてみなすべきと考える。見解は。

答弁を要求する理事者

市長並びに関係理事者